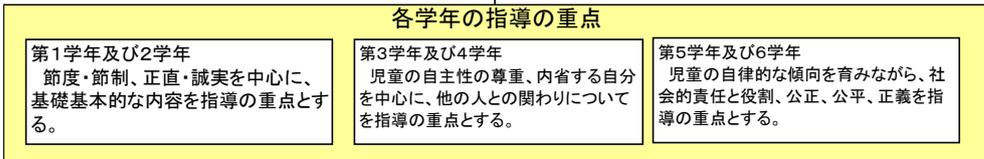


学校の道徳教育の重点目標 人との関わりを体験的に学ぶ活動を重視する。児童の心に働きかけ、心を通わせる指導を通して、思いやりや信頼を育み、自他の生命や人格を尊重する態度を培う。更に、人との関わりを通して、ルールを守って生活することの大切さに気付かせ規範意識を育む。



生活指導
 集団生活についての理解を深め、規範意識の高い心身共に健やかな児童の育成を図る。

環境整備
 児童の豊かな心を育て、道徳的実践意欲を高めるよう、心に響く環境づくりをする。

家庭・地域との連携
 学校、家庭、地域社会との相互理解を深め、基本的な生活習慣の向上と地域社会の道徳教育の推進を図る。

推進体制
 道徳部と学年との連携を図り、年間指導計画を整備するとともに、全教育活動を通して道徳教育の充実に努める。